

【巻末資料】

現地実証試験の実施/モニタリング結果
嘉陽海域

○モニタリング結果(生育調査)

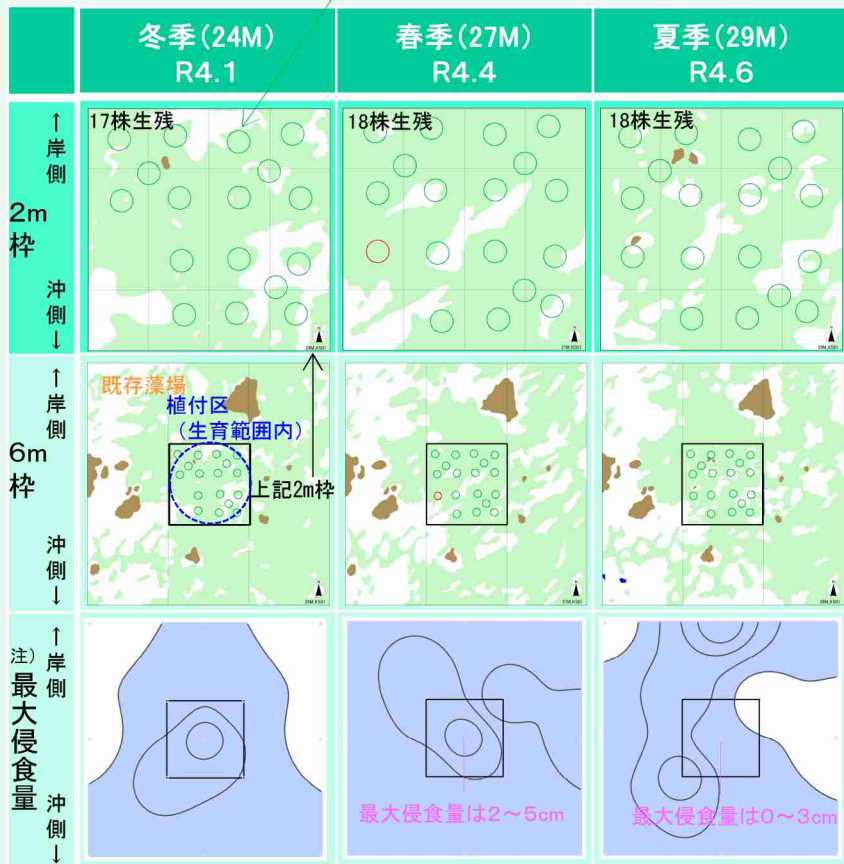
<KS01> (水深D.L.-1.2m)

- ・目視による生残株数は、春季(27M)、夏季(29M)ともに18株であった。
 - ・2m枠内の最大侵食量は春季(27M)では2~5cm、夏季(29M)では0~3cmであった。
- 既存の海草と区別がつかない株



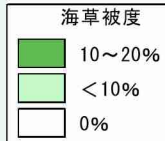
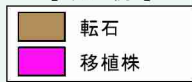
<KS02> (水深D.L.-1.2m)

- ・目視による生残株数は、春季(27M)、夏季(29M)ともに20株であった。
 - ・2m枠内の最大侵食量は春季(27M)では2~3cm、夏季(29M)では0~2cmであった。
- 既存の海草と区別がつかない株

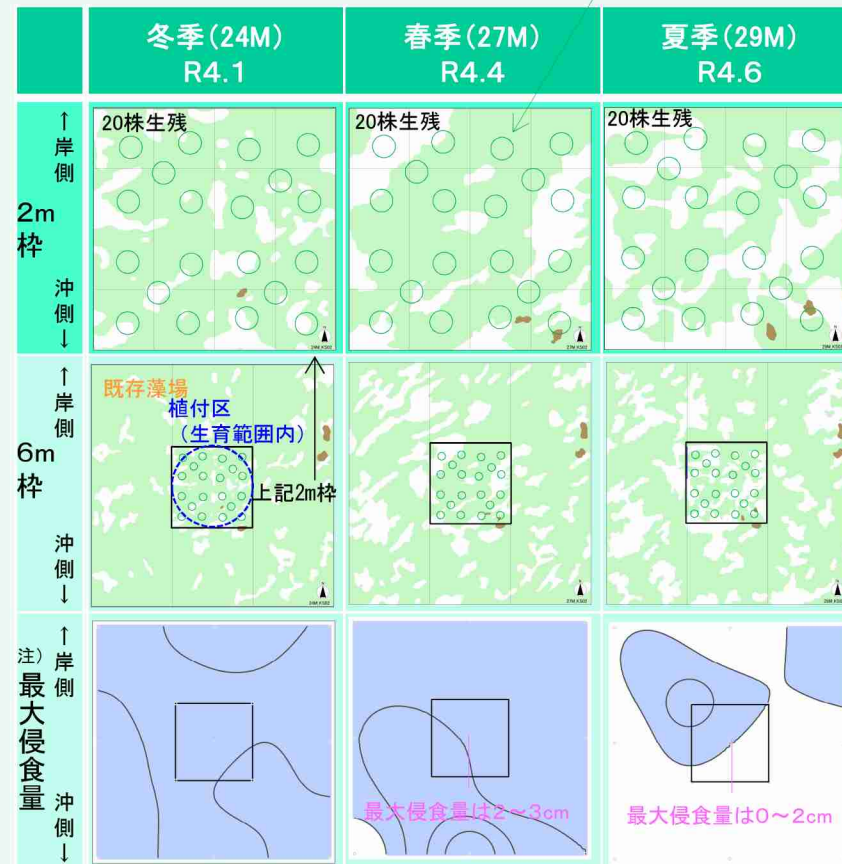


注)最大侵食量: 前回調査時からの侵食量

【凡例】

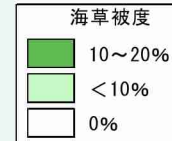


- : 継続的に確認された移植株
- : 再確認された移植株
- ×: 確認されなかった移植株



注)最大侵食量: 前回調査時からの侵食量

【凡例】



- : 継続的に確認された移植株
- : 再確認された移植株
- ×: 確認されなかった移植株

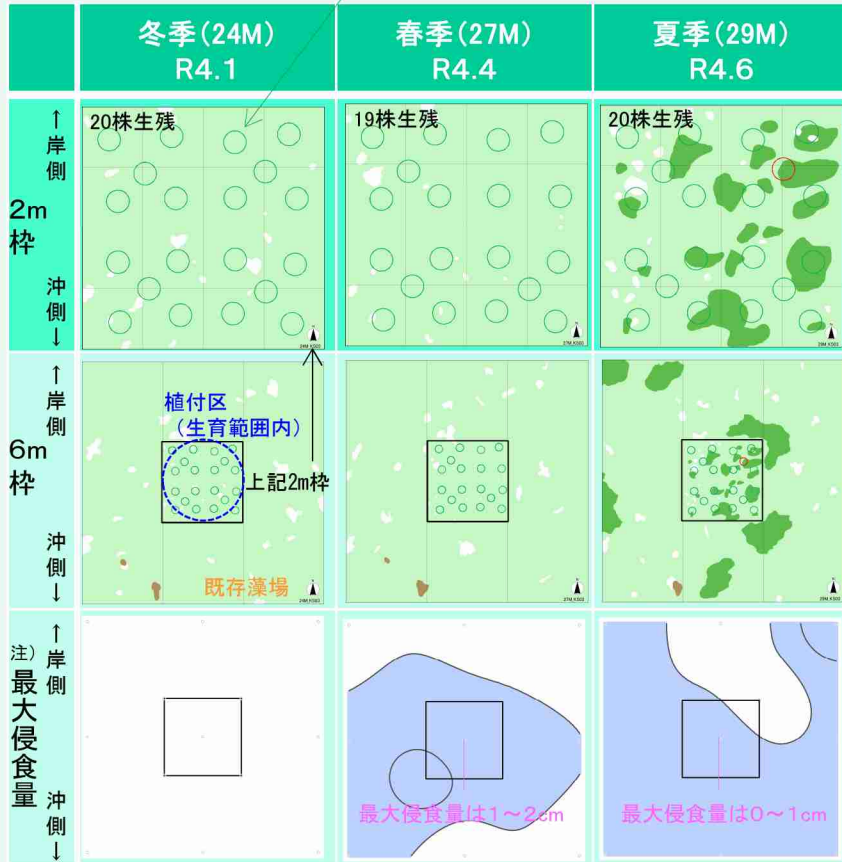


○モニタリング結果(生育調査)

<KS03> (水深D.L.-1.0m)

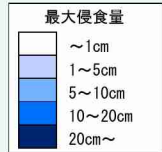
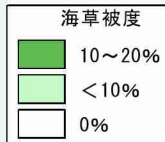
- 目視による生残株数は、春季(27M)では19株、夏季(29M)では20株であった。
- 2m枠内の最大侵食量は春季(27M)では1~2cm、夏季(29M)では0~1cmであった。

既存の海草と区別がつかない株



注)最大侵食量: 前回調査時からの侵食量

【凡例】

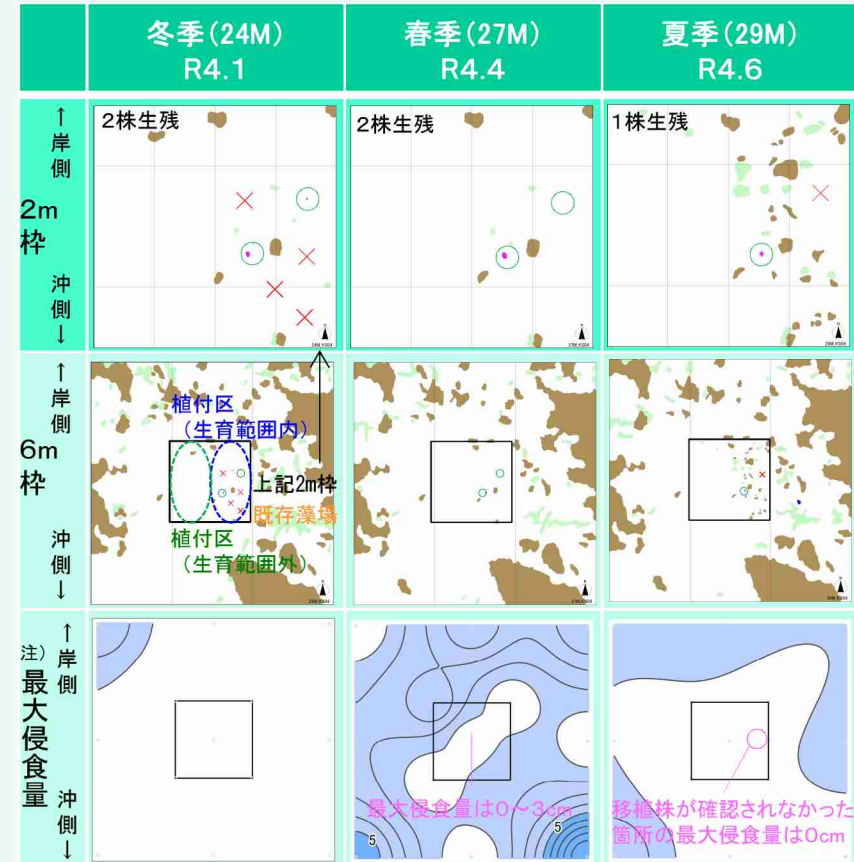


- : 継続的に確認された移植株
- : 再確認された移植株
- ×: 確認されなかった移植株



<KS04> (水深D.L.-1.3m)

- 目視による生残株数は、春季(27M)では2株、夏季(29M)では1株であった。
- 2m枠内の最大侵食量は春季(27M)では0~3cm、夏季(29M)で移植株が確認されなかった箇所は0cmであった。



注)最大侵食量: 前回調査時からの侵食量

【凡例】



- : 継続的に確認された移植株
- : 再確認された移植株
- ×: 確認されなかった移植株

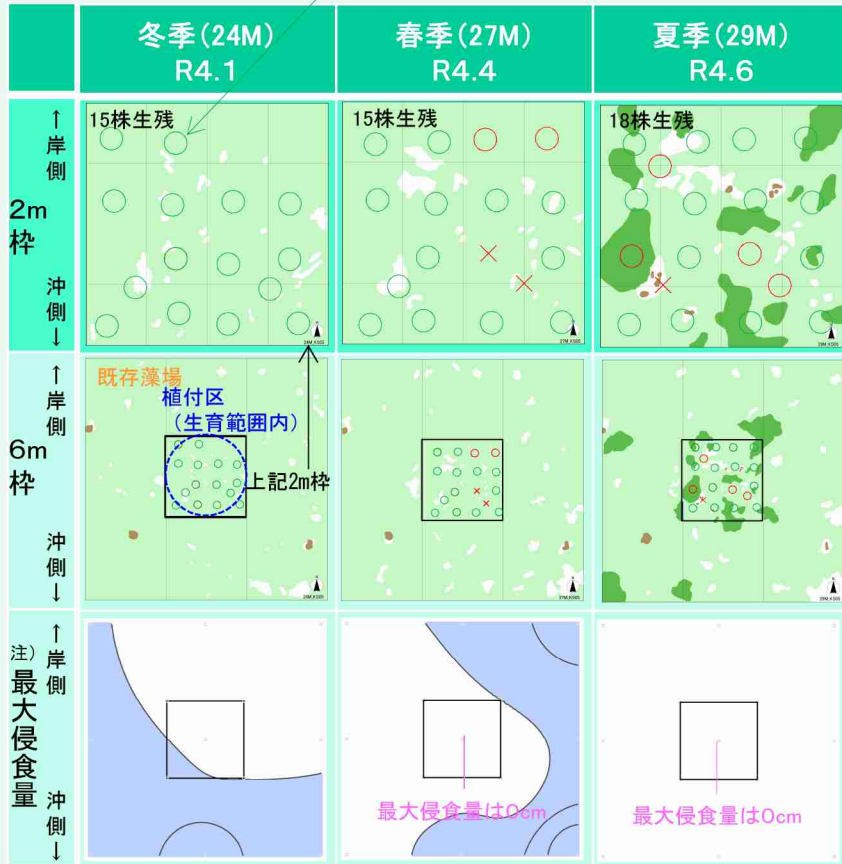


○モニタリング結果(生育調査)

<KS05> (水深D.L.-1.1m)

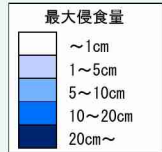
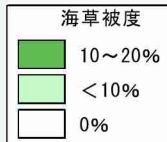
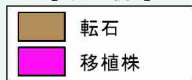
- ・目視による生残株数は、春季(27M)では15株、夏季(29M)では18株であった。
- ・2m枠内の最大侵食量は春季(27M)、夏季(29M)ともに0cmであった。

既存の海草と区別がつかない株



注)最大侵食量: 前回調査時からの侵食量

【凡例】

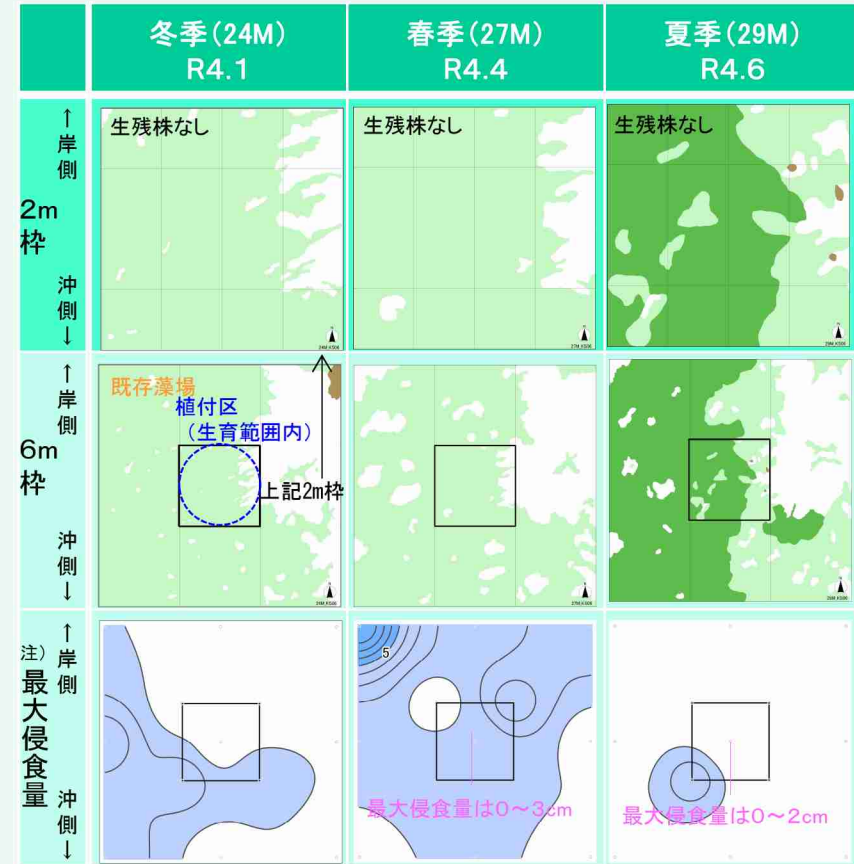


- : 継続的に確認された移植株
- : 再確認された移植株
- ×: 確認されなかった移植株



<KS06> (水深D.L.-1.0m)

- ・目視による生残株数は、春季(27M)、夏季(29M)ともに0株であった。
- ・2m枠内の最大侵食量は春季(27M)では0~3cm、夏季(29M)では0~2cmであった。



注)最大侵食量: 前回調査時からの侵食量

【凡例】



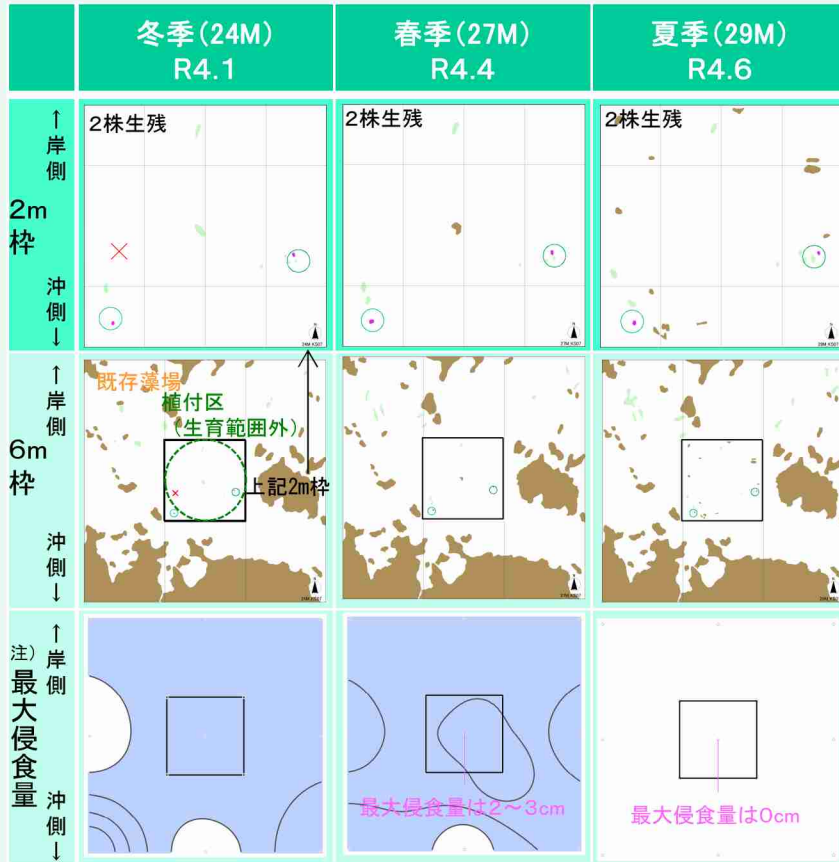
- : 継続的に確認された移植株
- : 再確認された移植株
- ×: 確認されなかった移植株



○モニタリング結果(生育調査)

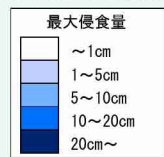
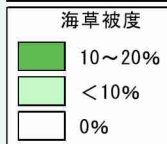
<KS07> (水深D.L.-1.3m)

- ・目視による生残株数は、春季(27M)、夏季(29M)ともに2株であった。
- ・2m枠内の最大侵食量は春季(27M)では2~3cm、夏季(29M)では0cmであった。



注) 最大侵食量: 前回調査時からの侵食量

【凡例】

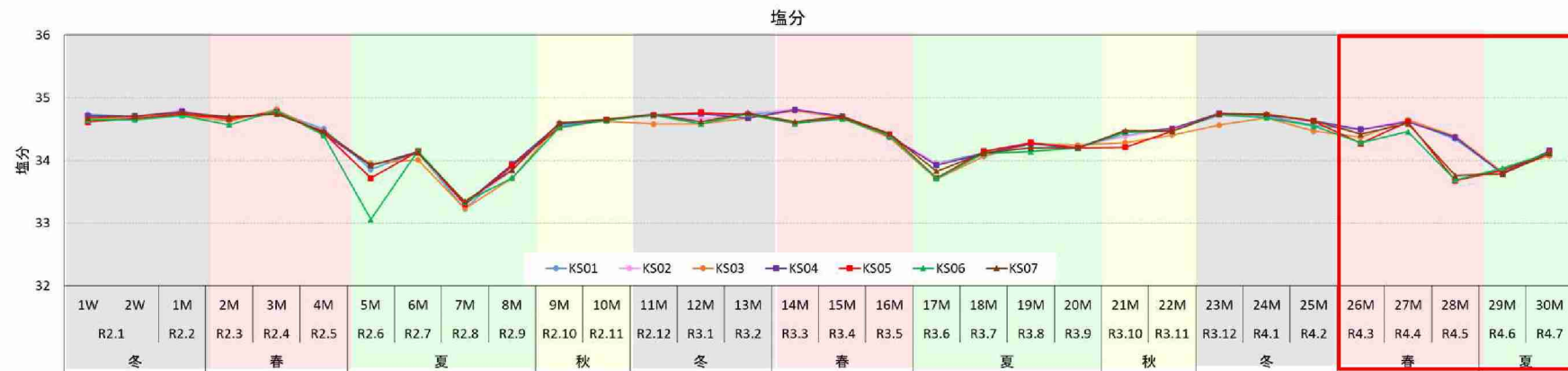
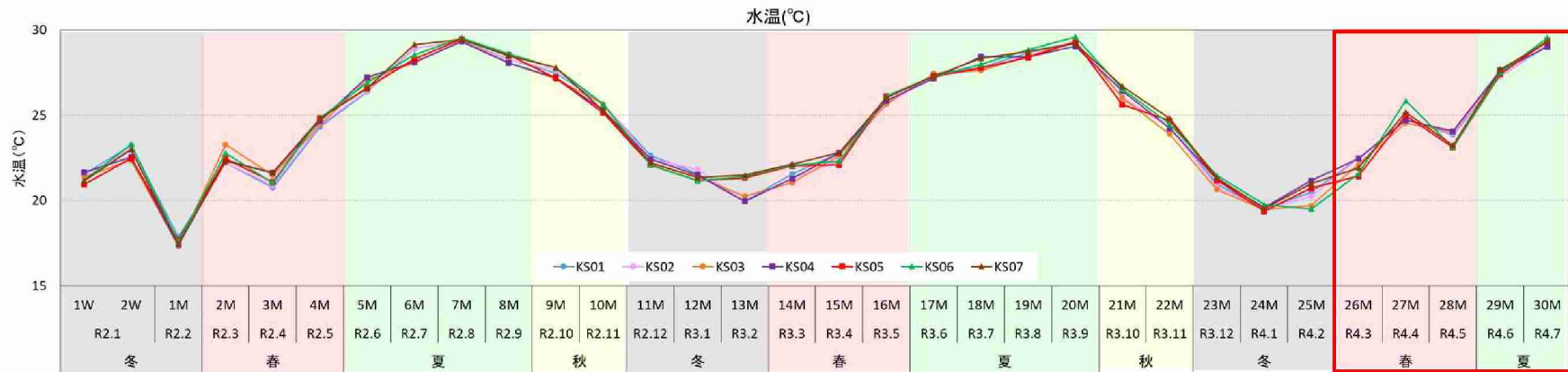


- : 継続的に確認された移植株
- : 再確認された移植株
- ×: 確認されなかった移植株



モニタリング結果（水温・塩分）

- ・春季(26、27、28か月後モニタリング)の各地点の水温は21.4～25.8℃、塩分は33.7～34.6であった。
- ・夏季(29、30か月後モニタリング)の各地点の水温は27.3～29.5℃、塩分は33.8～34.2であった。

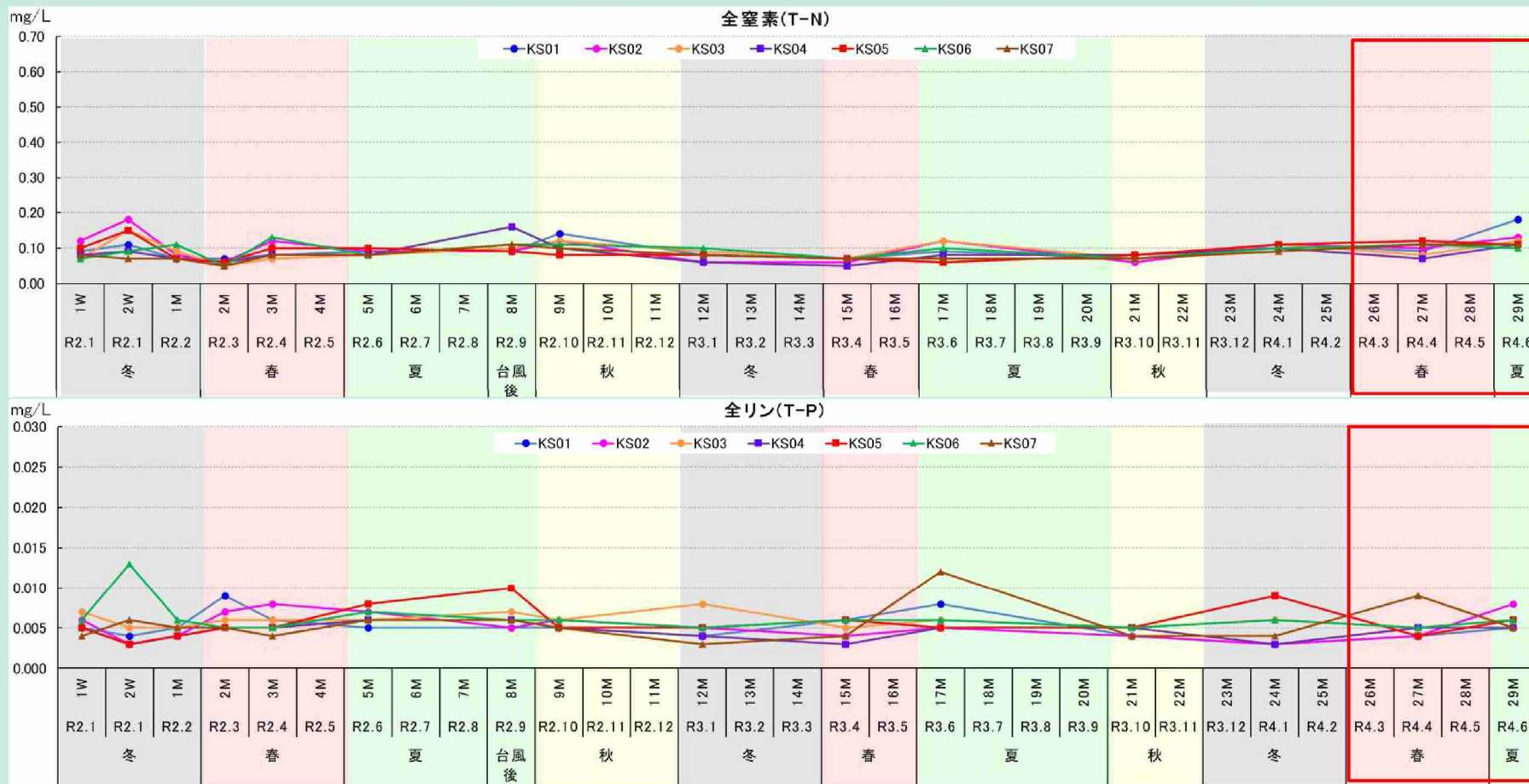


□ : 今回報告



モニタリング結果（全窒素・全リン）

- ・春季(27か月後モニタリング)の各地点の全窒素は0.07～0.12mg/L、全リンは0.004～0.009mg/Lであった。
- ・夏季(29か月後モニタリング)の各地点の全窒素は0.10～0.18mg/L、全リンは0.005～0.008mg/Lであった。

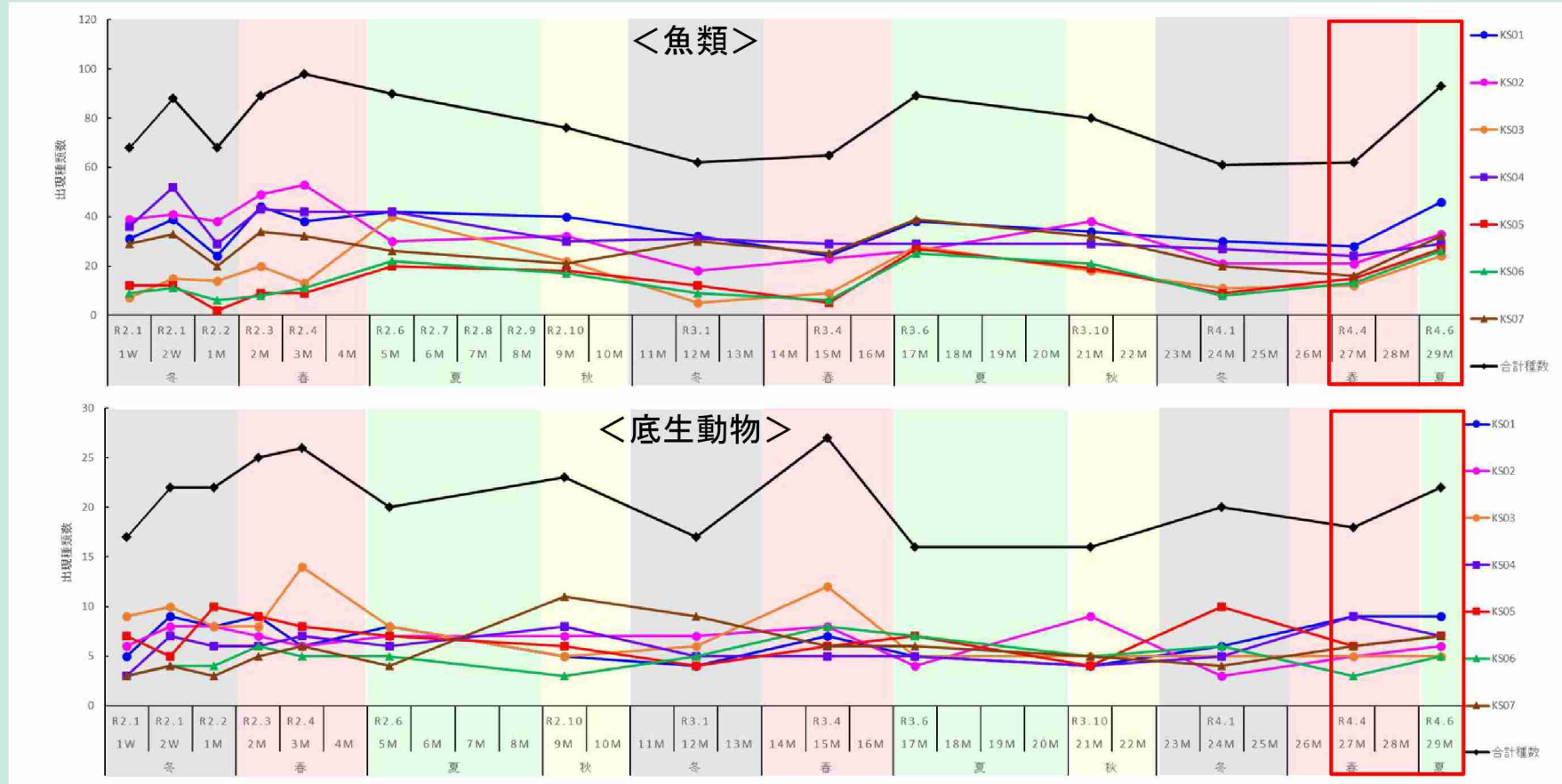


: 今回報告



モニタリング結果(藻場生態系)

- ・春季(27か月後モニタリング)の各地点の魚類の出現種類数は12~28種類であり、合計種類数は62種類で、底生動物の出現種類数は3~9種類であり、合計種類数は18種類であった。
- ・夏季(29か月後モニタリング)の各地点の魚類の出現種類数は24~46種類であり、合計種類数は93種類で、底生動物の出現種類数は5~9種類であり、合計種類数は22種類であった。



□ : 今回報告



オビシビハゼ



キンランカノコ

